

幅広いアプローチ活動六ヶ所サイト (青森県六ヶ所村)



4. 核融合研究作業部会について

核融合研究作業部会について

設置の趣旨

○ITER計画の本格化や幅広いアプローチの始動等により、核融合研究が新たなフェーズに入ったことに伴い、今後、我が国としてどのようにITER計画等の国際共同研究に取り組むのかが重要な課題となっている。

○また、平成15年1月の学術分科会基本問題特別委員会核融合研究ワーキンググループによる「今後の我が国の核融合研究の在り方について(報告)」で示された核融合研究の重点化等についても、これまでの進捗状況を確認した上で、今後の進め方について検討する必要がある。

○このため、我が国における核融合研究に関する新たな展開について、調査審議を行う作業部会を設置する。

審議事項

○ITER計画、幅広いアプローチに関する国内の検討体制及び推進体制について

○ITER計画、幅広いアプローチに係る諸課題について

○核融合研究の重点化について

○共同利用・共同研究の強化について

○核融合分野の人材育成について

○他分野との学術的な連携、産業連携について

○その他

構成員

飯吉 厚夫(主査)	中部大学総長
石塚 昶雄	社団法人日本原子力産業協会常務理事
大島 まり	東京大学大学院情報学環教授
梶島 洋美	横浜国立大学大学院国際社会科学研究所助教授
菊池 満	独立行政法人日本原子力研究開発機構 先進プラズマ研究開発ユニット長
小森 彰夫	自然科学研究機構核融合科学研究所 大型ヘリカル研究部研究総主幹
香山 晃	京都大学エネルギー理工学研究所長
坂内 正夫	情報・システム研究機構国立情報学研究所長
笹尾 眞實子	東北大学大学院工学研究科教授
高村 秀一	愛知工業大学工学部電気学科教授
田中 知	東京大学大学院工学系研究科教授
東嶋 和子	サイエンス・ジャーナリスト
平山 英夫	高エネルギー加速器研究機構理事兼任 共通基盤研究施設長
松田 慎三郎	独立行政法人日本原子力研究開発機構 執行役
三間 罔興	大阪大学レーザーエネルギー学研究センター長
本島 修	自然科学研究機構核融合科学研究所長
吉田 善章 (科学官)	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
山田 弘司 (学術調査官)	自然科学研究機構核融合科学研究所 大型ヘリカル研究部研究主幹

ITER・BAに関する国内実施・協力体制

